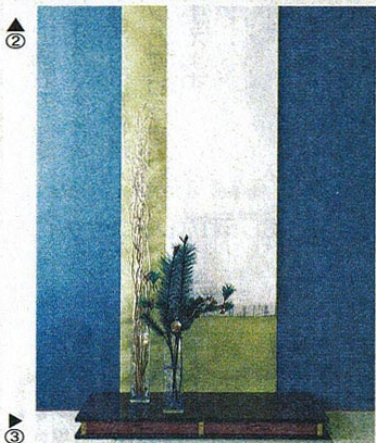


# くらしナビ 住まい Living

kurashi@mainichi.co.jp



## NAVIGATOR

### クリスマスパーティー 室内を飾るには



矢代恵さん

クリスマス、お正月と家に友人や親戚を招く機会が増えるこの季節。パーティーを開くなら、いつもの工夫ができるか聞きたい。

建築設計事務所「神戸市」の建築士、矢代恵さんに、ホームパーティーを開く時、住まいでどのような工夫ができるか聞いた。

「矢代さんは『五感に訴える演出をしましょう』と話す。大人のクリスマス」をテーマに夕方から夜にかけての開催を想定し、自宅のインテリアをアレンジしてもらった。まずは玄関。矢代さんは「扉を開けた瞬間が大事。『いつもと違う』と驚いてもらえる仕掛けを」と言う。リビングに向かう通路の照明を消し、アロマキャンドルを並べる。写真①。すると、人が通るたびに光が揺らめき、アロマの香りが漂う。レストランのような「非日常」の雰囲気だ。パーティーのメイン空間となるリビングは、色間となるリビングは、色のコーディネートと照明がカギ。華やかさを演出するため、色はクリスマスカラーの赤、緑を基調に、ゴールド、シルバーを使うことにした。「面積の広いテーブルクロスやソファの布を替えると効果的」と矢代さん。深緑色のクロスに、光沢のあるゴールドのランナー（テーブルの中央に掛ける布を重ねると、テーブルが華やかだ。ソファはカバーを替えず、布を掛けると印象が変わる。赤は観音用低木のポインセチアや、ク

# 色と照明で「非日常」演出

## 家具に布、華やかに ■キャンドル効果的

ツシヨンカバーなどでアクセントをつける程度に抑える上品に映る。照明は「時間とともに光の重心を徐々に下に持ってくる」と、落ち着いた雰囲気になる。天井が暗くなるにつれ、天井の照明を暗くしたり、消したりして、フロアライトやキャンドルをつける。写真②。キャンドルの光は、部屋の陰影を出し、料理を美しく見せる効果もある。子どもがいる場合は、キャンドル風の揺らめきを出すLEDライトを使うと安全だ。

生活感のある家電や雑貨をどう隠すのかも、悩みのタネだが「隠すために布をかぶせると余計に目立つので、視線をそらせる工夫をして」。光や色を、見てほしくない場所から離れた空間に集中させるのがいい。最後に正月のホームパーティー用として「和」の空間を提案してもらった。畳スペースにひな人形を飾るひな段を「置き床」として設置し、松やウツリユウヤナギ、タペストリーを飾って床の間に見立てた。写真③。壁に掛けるタペストリーは、花を包む包装紙と竹の模様の壁紙を張り合わせて作った。置き床は花台などでも代用できる。矢代さんは「家にあるものに、少しの工夫を加えると空間は変わる。気軽に楽しむことが大事です」とアドバイスする。

【反橋希美】